

宇輝人

vol. 68

広い世界で、
自分らしくー



松村 佳奈 Matsumura Kana

平成21年松橋中卒。令和元年「Miss Tourism International 2019」で「ミスチャーム賞」を受賞。翌年仕事を退職し、パリへ。フランス、イタリア、オランダの事務所と契約し、クリスチャン ルブタン ビューティの広告モデルに起用されるなど本格的にモデル業へ挑戦。昨年10月からくまもと大好き大使、12月からは宇城市プロモーション大使を務める。

@Wakamiya



ミス ツーリズム インターナショナル マレーシアで「Miss Tourism International 2019」の舞台に

第1章 出会い

2019年6月、九州美容専門学校の広報として働く松村佳奈さんは、ある出会いをする。知人に紹介されたのが、海外モデルプロデューサーの西尾聖子さん。「顔がヨーロッパモデル向きだよ」と声を掛けられた。断る前提で話を聞き始めたが、ちょうど仕事を辞めたいと考えていたとき。旅をしながら仕事をするライフスタイルへのあこがれ。そして、自分が本当にやりたいことを仕事にしたことの強い思い――。

そのために勉強を重ね、フリーランスで働くことへの何か

確信のようなものも得ていた。そんな彼女に舞い込んだ理想に近い生き方。徐々に前のめりになっていく自分がいた。でも、本当にできるのか、やりたいことなのかと自問自答する。そして、SNSで発見した、挑戦を続ける英会話サロンの経営者の元を直接訪ね、話を聞いた。

「絶対やった方が良い。迷ってる時点で行きたいってこと。迷ったらGOだよ」。そんなポジティブな言葉が腹に落ちた。

第2章 衝撃

西尾さんとの出会いから4カ月後、彼女はマレーシアで行われたミスコンに日本代表として出場する。初めてのミスコンがいきなり世界。45カ国のミスたちと一緒に過ごす、衝撃を受けた。

「色が白い、顔が小さい、目が大きい、そんな人がかわいいと思っていたんです。でも、海外でそれは褒め言葉ではない。バカにしてるとか、ショックを受ける子もいて。今まで生きてきた世界って狭いかなと思ったんです。」



@Misumi-nishiko

第3章 旅立ちと夢

2020年3月には6年間勤めた職場を退職。モデル1本に道を定め、9月にはパリへ。初めてのヨーロッパに、コロナ禍でアジア人が受け入れられるのか不安もあったが、みんなフレンドリーだった。生活だけでなく仕事も楽しむ風土に、居心地の良さを感じる。私のマインドに合ってる！」

西尾さんは彼女の魅力について「恐れない。嫌だろうなと思うことも、佳奈ちゃんは楽しく変換できるんです。人間として完成形。」と話す。

「モデルは中身を一番見られると思います。人と人が直接関わる中で言葉じゃなくてユーモアや内面が大事。体型はどうであれ、自分らしくいる子が一番輝いているんです。」と松村さん。彼女のもう1つの夢は、子どもや高齢者などの福祉ファッションショーのプロデューサー。さまざまな人が自信を持って人前に出ることで新しい自分に出会う場をつくりたいと展望する。

以前は自信がなく、しゃべるのも自分の声も嫌いだったという彼女。学生時代を知る人はきつと驚くのでは、と話すほど。事実を変えられなくても、発想の転換でイメージは塗り変えられる。そう言い切る彼女は、常に前を向く。自分らしく――。



@Paris